

## 痙攣するデジャ・ヴュ

——ビデオで読む小津安二郎——

### ⑩ 小津安二郎作品地名・人名稿（戦前・戦中トーカー映画編）

中 澤 千磨夫

## 凡例

本稿は「痙攣するデジャ・ヴュ——ビデオで読む小津安二郎——⑪小津安二郎作品地名・人名稿（戦後モノクロ映画編）」〔北海道武蔵女子短期大学紀要〕39、二〇〇七・三、「痙攣するデジャ・ヴュ——ビデオで読む小津安二郎——⑫小津安二郎作品地名・人名稿（カラー映画編Ⅰ）」〔北海道武蔵女子短期大学紀要〕41、二〇〇九・三、「痙攣するデジャ・ヴュ——ビデオで読む小津安二郎——⑬小津安二郎作品地名・人名稿（カラー映画編Ⅱ完）」〔北海道武蔵女子短期大学紀要〕42、二〇一〇・三「痙攣するデジャ・ヴュ——ビデオで読む小津安二郎——⑭小津

安二郎作品地名・人名稿（無声映画編Ⅰ）（『北海道武蔵女子短期大学紀要』43、二〇一一・三）、「痙攣するデジャ・ヴー——ビデオで読む小津安二郎⑮小津安二郎作品地名・人名稿（無声映画編Ⅱ完）」（『北海道武蔵女子短期大学紀要』44、二〇一二・三）を承けるものである。

ここでは『一人息子』（一九三六年）、『淑女は何を忘れたか』（一九三七年）、『戸田家の兄妹』（一九四一年）、『父ありき』（一九四二年）の四作品に登場する地名と人名を見出しとして掲出し、読み方と簡単な注を付した。地名についてはすべて、人名については役名・キャスト名・スタッフ名を除いたすべてを掲出した。ただし、役名については一部掲出したものがある。それは、その役名になんらかの意図が見いだされる場合などである。また、地名・人名以外の固有名詞（文学作品名・商品名など）・普通名詞で掲出したものがあるが、その掲出基準は必ずしも一定していない。洋酒名やロケ地・セット内の固有名詞には採らなかったものが多い。

テキストとして用いたのは、映画は『小津安二郎DVD—BOX第三集』（二〇〇三・一一、松竹株式会社）、脚本は井上和男編『小津安二郎全集「上」』（二〇〇三・四、新書館）である。

掲出の優先順位は映画内での台詞、映像に映し出されているもの（原則として画面手前から奥、上手から下手、上方から下方の順に掲出）、字幕、脚本に出てくるもの（ト書きなどの説明）とした。掲出見出しのうしろに括弧書きで示したのはその順位による。括弧書きがないものは台詞としてのみ出るもの。その場合、脚本に書かれていても特に注記しなかった。「映像」とあるのは映画から読める情報である。『全集』とあるのは、脚本にト書き・台詞などとしてのみ出てくるもの。判読不明文字は＊で示した。掲出した字体については、必ずしもテキストに忠実ではない場合がある。例えば「ゼームス・楨」の「楨」は「楨」とした。また、同一人物であっても作品に

より使われている字体が異なる場合があり、統一はしていない。正字・俗字等の混用も統一していない。

「小津安二郎作品地名・人名稿」は本稿を含め六本。補訂の上『小津安二郎地名・人名事典』（言視舎）として刊行の予定である。

仕事の性質上、間違い多きことを恐れます。ご教示をお願いいたします。

## 『一人息子』（一九三六年）

百三分 白黒・トーキー

九月十五日 帝国館公開

脚本、ネガ、プリント現存

原作 ゼームス・楨

脚色 池田忠雄・荒田正男

撮影 杉本正次郎

録音 茂原英雄・長谷川栄一

美術監督 浜田辰雄

音楽 伊藤亘二

音響効果 斎藤六三郎

助監督 原研吉・根岸浜男・西川信夫

撮影記録 下村直治

撮影事務 高山傳

撮影補助 厚田雄春・桜井清寿・宇野沢仁

配光 中島利光

現像焼付 納所歳己・阿部鉦太郎・宮城島文一・由良貞司

舞台装置 大谷弥吉

舞台装飾 日野芳篤

録音補助 吉川倫治・入江政男・神保幹雄・熊谷宏・関原松雄・小谷野幸雄

衣装 斎藤耐三

結髪 岸村郁

字幕 藤岡秀三郎

字幕撮影 廣木正幹

音楽演奏 松竹大船楽団

監督 小津安二郎

配役

野々宮つね 飯田蝶子

野々宮良助 日守新一・葉山正雄

杉子 坪内美子

おたか 吉川満子

大久保先生 笠智衆

その妻 浪花友子

その子 爆弾小僧

富坊 突貫小僧

女工 高松栄子

近所の子 加藤清一

君子 小島和子

松村老人 青野清

「オールド・ブラック・ジョー」【おおるど・ぶらつく・じょお】（音楽） フォスター（次項） 作詞・作曲。一八

六〇年。詞のモデルはフォスターの家に使われていた奴隷。コットンフィールズの時代からの友人たちが皆逝ってしまい、年老いたジョーに天国からやさしく語りかける。自身の死が近いことを知っているジョーは、死ん

だ彼らを悼み、ため息を吐く。ジョーの心情が野々宮つねのそれに投影している。

**フォスター**【ふおすたあ】(音楽) Stephen Collins Foster(一八二六～六四年)。アメリカ合衆国の作曲家。「草競馬」、「金髪のジェニー」など多くの歌曲が世界中で愛唱されている。フォスター自身の生涯は不遇で、ニューヨーク・ダウンタウンの安宿で倒れ、その時割れたガラスの水差しの破片で頸動脈を切り、三十七歳の生涯を終えた。

**大船映画**【おおふなえいが】(映像) オープニングクレジット。一九三六年一月十五日、松竹は撮影所を東京市蒲田区蒲田町まちから神奈川県鎌倉郡大船町まちに移転した。東京の都市化で工場や交通の騒音によりトーキー撮影に不都合が生じるようになったためである。『二人息子』は「大船映画」とクレジットされているが、撮影は蒲田撮影所で深夜騒音を避けて行われた。つまり、最後の蒲田映画である。

**AN OH FUNA PICTURE**【あん・おおふな・ぴくちゃあ】(映像) オープニングクレジット。「大船映画」(前項) 参照。

**松竹キネマ株式会社**【しうちくきねまかぶしがいしゃ】(映像) オープニングクレジット。『学生ロマンス若き日』、『和製喧嘩友達』、『大学は出たけれど』、『突貫小僧』、『朗らかに歩め』、『落第はしたけれど』、『その夜の妻』、『淑女と髻』、『東京の合唱』、『生れてはみたけれど』、『青春の夢いまいづこ』、『東京の女』、『非常線の女』、『出来ごころ』、『母を恋はずや』、『浮草物語』、『東京の宿』の項参照。

**富士山**【ふじさん】(映像) オープニングクレジット。小津映画のオープニングクレジットに富士山が使用されるのはこれが最初。『箱入娘』、『大学よいとこ』、『生れてはみたけれど』の項参照。

茂原式システム【もはらしきしすてむ】（字幕） オープニングクレジット。「一人息子」は劇映画として小津の最初のトーキー。よく知られているように、日本最初のトーキーは五所平之助『マダムと女房』（一九三一年、松竹蒲田）。採用されたのは土橋式トーキー。同じ松竹でありながら、小津が五年もトーキーに踏み切らなかったのは、小津組撮影監督の茂原英雄が独自にトーキーを開発していたためである。

ANIMATONAL【あにまとなる】（字幕） オープニングクレジット。不詳。演奏記号のアニマト（Animato）に関わるか。小津がアニマト（生き生きと活発に）とこの作品の基調を読者に提示しているのだとすると、きわめて意味深長。出口無しの絶望を描くこの作品は元氣よく作られたのだという皮肉な意味が込められているから。

野々宮【ののみや】（映像・台詞・『全集』） 野々宮母子の名は夏目漱石『三四郎』（一九〇八年）の登場人物・野々宮宗八（寺田寅彦がモデルという）に由来するだろう。小津の文学趣味を表す。

「人生の悲劇の第一幕は／親子になったことに／はじまっている」【じんせいひのひげきの／だいいちまくは／おやこになったことに／はじまっている】（字幕） 芥川龍之介の『侏儒の言葉』（次々項）を冒頭に示し、作品のテーマを明示する。『全集』は「人生の悲劇の第一幕は／親子となったことにはじまっている」。芥川の原文は「親子と」である。

「人生の悲劇の第一幕は／親子となったことにはじまっている——侏儒のことば——」【じんせいひのひげきのだいいちまくは／おやこになったことにはじまっている——しゅじゅのことば——】（『全集』） 前項参照。

『侏儒の言葉』【しゅじゅのことば】（字幕） 芥川龍之介の警句を集めたもの。一九二三～二七年にかけて『文藝

春秋』に発表された。

信州【しんしゅう】（字幕『全集』・台詞）「一九三三年／信州——」。のちに「一九三五年／信州——」。『全集』では「一九三三年 信州——」、のちに「一九三五年 信州——」。信濃国の異称。長野県。

△七 仁田【やましち にた】（映像）「春爾買入／當分ノウチ春爾／一貫目拾参圓拾銭／見当／△七 仁田」の貼り紙。

日章旗【にっしょうき】（映像）小学校校庭に翻る。日本国旗。「日の丸の旗」の項参照。

竈主神【かまどぬしがみ】（映像）良助の家の竈にお札が貼ってある。竈の守護神。かまがみ。かまどがみ。まのかみ。

中学校【ちゅうがっこう】 旧制中学校。一九四七年四月一日の学制改革以前、男子に行われて中等教育の学校。

映画公開時では義務教育であった尋常小学校六年終了後入学。修業年限は五年。女子の中等教育機関は高等女学校であった。当時は尋常小学校あるいは高等小学校（修業年限二年）を終えて働くのが一般であったから、男女とも進学率は低く、特に中学校・高等学校・大学と進むのはエリートコースであった。

東京【とうきょう】（台詞・『全集』・字幕）字幕は「一九三六年／東京——」。『全集』での表記は「一九三六年 東京——」。

立春大吉【りっしゅんだいきち】（映像）良助の家にお札が貼られている。場面は立春のころだと分かる。

㊦【まるか】（映像）良助の家に「㊦ 妙薬」の看板。富山の薬売り関連か。

日の丸の旗【ひのまるのはた】（『全集』・映像）「大久保先生 バンザイ」という手作りの日の丸。日本国旗。



「日章旗」の項参照。

**上野駅**【うえのえき】（映像・『全集』）ここでは東京都台東区（映画公開時は東京市下谷区）にあるJR東日本

（映画公開時は鉄道省）の駅。東北・北海道への玄関口であり、井沢八郎の大ヒット曲「あゝ上野駅」（関口義明／詞・荒井英一／曲）がその悲哀を良く表している。

**C51185**【しいじゅういちいちちち】（映像）鉄道院（一九二〇年に鉄道省）が一九一九年に開発したテンダー式蒸気機関車C51の百八十五番目。テンダーとは炭水車のこと、これを接続していることで長距離走行が可能となる。

**円タク**【えんたく】（映像）『その夜の妻』、『お嬢さん』、『青春の夢いまいづこ』、『非常線の女』の項参照。『全集』は「タクシー」。

**高崎**【たかさき】群馬県高崎市。野々宮つねは長野から信越本線・高崎線・東北本線と経由して上野に到着した。

**隅田川**【すみだがわ】『長屋紳士録』の項参照。

**永代橋**【えいたいばし】（映像・台詞・『全集』）隅田川に架かる橋。東京都中央区新川（映画公開時は東京市日本橋区霊岸島）と江東区（映画公開時は深川区）佐賀・永代を結ぶ。赤穂義士が吉良邸討ち入りのあと、上野介の首を掲げて永代橋を渡り泉岳寺に向かった。また、夜鷹の出没地。関東大震災（一九二三年）で焼け落ち、多数の死者を出した。両岸から家財を持った避難者が押し寄せ身動きままならなかったためである。火事場の馬鹿力とはいったもので、人々はとてつもなく大きな家財を持ち出し避難したのであった。本所被服廠跡地のような広大な空地においても、避難者が持ってきた家財が火の海となり、三万八千名の死者を出したのである。

震災復興事業第一号として、現在の橋が一九二六年竣工。帝都復興院土木局長の太田圓蔵（一八八一～一九二六年）（木下杢太郎（一八八五～一九四五年）の兄）が架橋の中心となった。二〇〇七年、重要文化財指定。『生れてはみたけれど』の項参照。

**清洲【きよす】**（映像） バスの行き先表示。清洲の名は清洲橋（次項参照）が東京市深川区（現在は江東区）清澄と日本橋区（現在は中央区）日本橋中洲を結んで架橋された時に命名。清洲という地名が存在するわけではない。したがって、『二人息子』に写しこまれている「清洲」という行き先表示は清洲橋を略したものか。あるいは映画のために用意されたものかもしれない。

**清洲橋【きよすばし】** 隅田川に架かる橋。東京都中央区（映画公開時は東京市日本橋区）日本橋中洲と江東区（映画公開時は深川区）清澄を結ぶ。関東大震災復興事業として、一九二八年竣工。両岸の地名から一字ずつ取り、清洲橋と命名。帝都復興院土木局長の太田圓蔵（一八八一～一九二六年）（木下杢太郎（一八八五～一九四五年）の兄）が架橋の中心となった。二〇〇七年、重要文化財指定。

**ジョーン・クロフォード【じょおん・くろふおおど】**（映像） Joan Crawford（一九〇五～七七年）。アメリカ合衆国の女優。良助の家にポスターが貼ってある。

**Germany【じゃあまにこ】**（映像） 良助の家に馬のポスターが貼ってある。おそらくベルリンオリンピック馬術競技のもの。また、馬の腹、馬の足はのちのプロットに深く関わる。つまり、このポスターは富坊の怪我を暗示する役割を持たされている。『戸田家の兄妹』の項参照。（別のポスターだが）

**市役所【しやくしよ】** ここでは東京市役所。東京府東京市は一八八九年五月一日市政施行。一九四三年七月一日

都政施行で東京都となった。

シムソン線の定理【しむそんせんのていり】（台詞） 三角形の外接円上の一点から三角形の各辺あるいは延長線上の各辺に下ろした垂線と交わる点を結ぶと一直線になる。この直線をシムソン線という。イギリスの数学者シムソン（次々項）が発見。

シムソンの定理【しむそんのていり】（『全集』） 前項参照。

シムソン【しむそん】 Robert Simson（一六八七—一七六八年）。イギリスの数学者。

世界地図【せかいちず】（映像） 良助が勤務する夜学の教員室に貼られている。

地球儀【ちきゅうぎ】（映像） 良助が勤務する夜学の教員室にある。『淑女は何を忘れたか』の項参照。

とんかつ【とんかつ】（映像） 旗・ガラス戸の文字。大久保先生の家。

内外たばこ【ないがいたばこ】（映像） 国産煙草と舶来煙草。大久保先生の家近く。看板。

大福\*【だいふく\*】（映像） 大久保先生の家。看板。

餅菓子【もちがし】（映像） 大久保先生の家。看板。

志るこ【しるこ】（映像） 暖簾の文字。大久保先生の家。隣り。

冷ラムネ【ひやしらむね】（映像） 暖簾の文字。冷やしたラムネ。ラムネはレモネードの転。炭酸水に甘味料レ

モン風味を添加し、ビー玉で栓をしたもの。大久保先生の家。隣り。

メリケン粉【めりけんこ】（映像・『全集』） 大久保がとんかつの下ごしらえをしている。小麦粉の俗称。古くアメリカから輸入していたため。

犀川【さいがわ】 野々宮つねは「さいかわ」と濁らずに発音している。ここでは長野市内を流れる犀川。梓川が松本市内で奈良井川を併せ、長野市内で千曲川と合流するまでの呼称。『父ありき』の項参照

上海事変【しゃんはいじへん】（『全集』） 良助の台詞に「運動場のポプラン所に、上海事変の忠魂碑が建ったそうですね」。のちにはやはり良助の台詞に「郷里の近所の人上海事変で死んだんだってさ——」。ここでは、第一次上海事変。一九三二年一月八日、日蓮宗の日本人僧侶が中国人に襲撃されたことから、上海陸戦隊は国民党軍と交戦。同年五月五日停戦。最初の挑発は田中隆吉少佐が画策したともいわれる。これらの台詞部分が現存版でカットされているのは、GHQの検閲によると思われる。後者はともかく、前者のカットはDVDでもはっきり確認できる。

忠魂碑【ちゅうこんひ】（『全集』） 良助の台詞に「運動場のポプラン所に、上海事変の忠魂碑が建ったそうですね」。忠義のために死んだ人を記念する碑。この台詞の部分が現存版でカットされているのは、GHQの検閲によると思われる。

戸隠山【とがくしやま】 長野県北部。戸隠神社を擁する山。一九〇四メートル。

大津絵【おおつえ】（映像） 江戸時代、近江国大津の追分、三井寺あたりで売り出された戯画。大久保が「鬼の念仏」（次項）を「夜泣きのおまじない」（『全集』）といって良助に渡す。

『鬼の念仏』【おにのねんぶつ】（映像・『全集』） 大津絵の画題のひとつ。

『未完成交響楽』【みかんせいこうきょうがく】（映像・『全集』） オーストリア映画『Leise fliehen meine Lieder』（一九三三年）。ウィリー・フォレスト（Willie Forst）監督。次項参照。『大学よこっこ』の「『未完成交響楽』」

の項参照。

ウィリー・ホルスト【ういりー・ほるすと】（『全集』 Willie Forst（一九〇三〜八〇年）。ウィリー・フォルスト。ヴィリ・フォルスト。

マルタ・エゲルト【まるた・えげると】（映像） Marta Eggerth。『未完成交響楽』（前々項）カロリーネ役の女優。一九一二年、ハンガリー生まれ。

ハンス・ヤーライ【はんす・やーらい】（映像） Hans Jaray。『未完成交響楽』（前々々項）シューベルト役の男優。オーストリア出身。一九〇六〜九〇年。

浅草【あさくさ】 東京都台東区（映画公開時は東京市浅草区）の地名。金龍山浅草寺きんりゅうざんせんそうじの門前町。関東大震災後あたりから銀座にその地位を奪われるが、日本一の繁華街であった。ランドマークは震災で崩壊した凌雲閣（浅草十二階・十二階）。

上野【うえの】 東京都台東区（映画公開時は東京市下谷区）の地名。

九段【くだん】 東京都千代田区（映画公開時は東京市麹町区）にかつて存在した地名。ここでは靖国神社。『長屋紳士録』の項参照。

雷門【かみなりもん】 浅草寺の総門。風神雷神を安置する。

支那蕎麦【しなそば】（台詞・『全集』・映像） 中華蕎麦。ラーメン。『全集』は「支那ソバ」。

浅草の観音さん【あさくさのかんのんさん】 浅草観音。金龍山浅草寺伝法院の本尊。観世音菩薩像。

昌来軒【しょうらいけん】（映像） 夜泣き蕎麦。ラーメン屋屋台。「昌」の字が使われていることに注目しよう。

『戸田家の兄妹』において、小津安二郎の分身たる二男・戸田昌二郎が華々しく登場するが、「昌」の字を負った固有名詞（ラーメン屋）が小津映画でここに初めて登場するのである。二男に拘れば、『朗らかに歩め』に神山謙二、『その夜の妻』に橋爪周二が登場していた。

大谷日出夫【おおたにひでお】（映像） 日本の俳優。福島県生まれ。一九〇九〜七一年。「大谷日出夫 五月晴オールトーカー」のポスターが昌來軒屋台に貼つてある。石田民三『五月晴一本槍』（一九三六年、新興京都）である。

⑧ 支那 蕎麦【まるしゅう しな そば】（映像） 屋台の文字。「支那蕎麦」、「昌來軒」の項参照。

東京市紋章【とうきょうしもんしょう】（映像） ☆大八車に付いている。ゴミ収集車か。『和製喧嘩友達』、『東京の合唱』、『東京の宿』の項参照。

洲崎【すさき】（『全集』） 東京市深川区深川洲崎弁天町（現在は東京都江東区東陽一丁目）。「洲崎の埋立地」。

『東京市のゴミ焼き場』（映像・台詞） 東京市深川塵芥処理工場。映像は一九三三年竣工の第二・第三工場。

クラブ白粉【くらぶおしろい】（映像・『全集』） ネオンサイン。『出来ごろ』の「クラブはき白粉」の項参照。

『全集』は「クラブ白粉」<sup>おしろい</sup>。一九〇三年創業の中山太陽堂（現在はクラブコスメチックス）の化粧品。

B【びい】（映像） ネオンサインの一部。それは良助、あるいは良助の自己認識がB級であるということを明示しているのではないか。

なわて【なわて】 噺、縄手。『全集』の表記は「噺手」<sup>なわて</sup>。あぜ道。田と田の間の細道。

中部地方【ちゅうぶちほう】 中部。本州中部部を占める愛知・岐阜・静岡・山梨・長野・新潟・石川・富山・福

井の九県より成る。

新潟県【にいがたけん】 中部地方の県。越後・佐渡の二国。県庁所在地は新潟市。

新潟【にいがた】 ここでは新潟市。一八八九年四月一日市政施行。二〇〇七年四月一日政令指定都市。

長野県【ながのけん】 中部地方の県。信濃国。県庁所在地は長野市。

長野【ながの】 ここでは長野市。一八九七年四月一日市制施行。

岐阜県【ぎふけん】 中部地方の県。飛騨・美濃の二国。県庁所在地は岐阜市。

岐阜【ぎふ】 ここでは岐阜市。一八八九年七月一日市制施行。

山梨県【やまなしけん】 中部地方の県。甲斐国。県庁所在地は甲府市。

やまな【やまな】 『全集』は「山――」。富坊が山梨県の県庁所在地を「やまな」と途中までいい、おかしいと気づく。

「月が鏡であつたなら」【つきがかがみであつたなら】（台詞・『全集』） 渡辺はま子の大ヒット曲「忘れちゃいや

ヨ」（最上洋・詞／細田義勝・曲）の冒頭部分歌詞。

香？田醫院【こう？だいいん】（映像） 電柱看板。

人体模型【じんたいもけい】（映像） 富坊の入院した病院にある。

十円札【じゅうえんさつ】（映像） 良助が大怪我をした富坊の母・おたかに治療費にと十円札を二枚渡す。のちに、おつねが良助の家に二十円残していく。肖像は和氣清麻呂。『宝の山』、『朗らかに歩め』、『淑女と髯』、『東京の合唱』の「十円札」の項、『浮草物語』の「十円紙幣」の項参照。

中等教員の検定【ちゅうとうきょういんのけんてい】（台詞） 文部省師範学校中学校高等女学校教員検定試験。

中等教員検定試験。文部省教員検定試験。文検。ぶんけんしん

善光寺【ぜんこうじ】 長野市にある寺。古来、善光寺詣りとして信仰の対象。

## 『淑女は何を忘れたか』（一九三七年）

七十一分 白黒・トーキー

三月三日 帝国館公開

脚本・ネガ・プリント現存

脚本 伏見晃・ゼームス・楨

撮影 茂原英雄・厚田雄春

録音 土橋武夫・妹尾芳三郎

編輯 原研吉

美術 浜田辰雄

音楽 伊藤亘二

配光 中島利光



装置 大谷弥吉

装飾 日野芳篤

助監督 根岸浜男・西川信夫・石川和雄・吉村公三郎

撮影助手 櫻井清寿・腰塚俊雄・斎藤毅

現像焼付 佐々木太郎・納所歳己

擬音効果 斎藤六三郎

録音助手 大谷昌允・前田嗣利・高山泰

衣装 斎藤耐三

結髪 鈴木末子

字幕 藤岡秀三郎

字幕撮影 廣木正幹

記録 前島一雄

撮影事務 高山傳

演奏 松竹大船楽團

衣装調製 ㊤三越

配役

麴町の夫人 栗島すみ子

麴町のドクトル 齋藤達雄

大阪の姪 桑野通子

大学の助手 佐野周二

牛込の重役 坂本武

そのマダム 飯田蝶子

大船のスター 上原謙

御殿山の未亡人 吉川満子

その子 葉山正雄

近所の小学生 突貫小僧

料亭の女将 鈴木歌子

お文 出雲八重子

酒場のマダム 立花泰子

大学の学生 大山健二

東京の芸者 大塚君代・浪花友子・水島光代・久原良子・小牧和子・東山光子

**松竹映畫**【しょうちくえいが】(映像) オープニングクレジット。前作までは「大船映画」、「蒲田映画」だった

ので「松竹映畫」というクレジットはこれが初めて。

松竹株式會社【しょうちくかぶしがいしゃ】（映像） オープニングクレジット。

土橋式松竹フォン【つちはししきしょうちくふおん】（映像） オープニングクレジット。

東京山の手【とうきょうやまのて】（『全集』） 東京高台の住宅地。江戸時代には武家屋敷や寺院があった地域。

麹町・四谷・牛込・赤坂・小石川・本郷など。現在では世田谷区・杉並区を含めて称す。下町の対義語。また、川筋に沿った地域を川の手と呼ぶ新しい表現は、山の手をもじったもの。

麹町【こうじまち】（『全集』） 東京市三十五区のひとつ。一九四七年、神田区との合併で東京都千代田区。皇居の西側、外堀の内側。丸ノ内・日比谷・霞が関・永田町など。

牛込【うしごめ】（『全集』・台詞） 東京都新宿区（映画公開時は東京市牛込区）にかつてあった地名。牧場があったことに由来する。

田園調布【でんえんちょうふ】（『全集』） 東京都大田区（映画公開時は東京市大森区）の地名。高級住宅地として知られる。

鵜縮緬【うずらちりめん】（『全集』） 普通より皺<sup>しぼ</sup>が大きい縮緬。明治末から大正はじめに流行。

三越【みつこし】 東京都中央区日本橋室町（映画公開時は東京市日本橋区室町）に本店がある百貨店。一六七三年創業の呉服屋・越後屋に始まる老舗。一九〇四年、三越呉服店。一九二八年、三越。同じ品物であっても三越の赤い雲形模様の包装紙に包まれていることで有りがたがられた時代があった。一九七二年ダイエーに小売業売り上げ日本一の座を奪われる。

三彩会【さんさいかい】 三越で催される着物の展示即売会。

動物園【どうぶつえん】 ここでは上野動物園。『長屋紳士録』の「上野動物園」の項参照。

中学【ちゅうがく】 『一人息子』の項参照。

フレデリック・マーチ【ふれでりっく・まーち】 Fredric March。フレドリック・マーチ。アメリカ合衆国の俳優。一八九七〜一九七五年。

銀座【ぎんざ】 東京都中央区（映画公開時は東京市京橋区）の地名。江戸初期に銀貨鑄造所（銀座）が設けられたことが地名の由来。

大阪【おおさか】 ここでは大阪市か。大阪府の府庁所在地。一八八九年四月一日市制施行。大和から河内へ抜ける大坂というのが地名の由来。古くは大坂。おおさか『宗方姉妹』、『お茶漬の味』、『東京物語』、『早春』、『彼岸花』、『浮草』、『小早川家の秋』の項参照。

節ちゃん【せつちゃん】 「大阪の節ちゃん」。大阪の姪（桑野通子）。小津の登場人物に節子が登場するのはこれが始め。山中貞雄『河内山宗俊』（一九三六年）により、小津が原節子を知っているのは確実。役名に小津の意識が反映していると想像するのも面白い。ちなみに次作『戸田家の兄妹』以降、節子の役名は続いていく。

大学【だいがく】（台詞・『全集』） ここでは東京帝国大学医学部。

千駄ヶ谷【せんだがや】 東京都（映画公開時は東京市）渋谷区の地名。

岡田【おかだ】（台詞・『全集』） 「大学の助手」の名。おそらく森鷗外「雁」（一九一〜一九一五年）の主人公である医学生の名が反映している。

丸善【まるぜん】（台詞・『全集』・映像） 東京都中央区（映画公開時は東京市日本橋区）に本社がある商社。和洋書籍・文具・事務用品・雑貨・ブランド洋品などを扱う。日本に於ける西洋の窓口の役割を一手に果たしていた。梶井基次郎「檸檬」（一九二五年）がその典型的な登場所である。

ゲルトネル氏菌【げるとねるしきん】 ゲルトネル菌。ゲルトナー菌。腸炎菌。一八八八年、ドイツのゲルトナー（次々項）がフランケンハウゼン（次項）で病死牛による食中毒を研究して発見。

フランケンハウゼン【ふらんけんはうぜん】 ドイツの地名。

ゲルトネル氏【げるとねるし】 ゲルトナー。August Anton Hieronymus Garter。ドイツの衛生学者・細菌学者（一八四八〜一九三四年）。

Genese【げねえぜ】（台詞） ドイツ語。起源。

Höcker【ほっかあ】（台詞） ドイツ語。こぶ。

Masern【まあぜるん】（台詞） ドイツ語。麻疹。はしか。

Spirochaeta【すぴろへえた】（『全集』） スピロヘータ目微生物の総称。狭義には梅毒の病原体。

Encephalitis Epidemica【えんせふありていすえびでみか】 流行性脳炎。

ウィーン【ういん】 オーストリアの首都。

エノモ氏【えこのもし】 Constantin von Economo（一八七六〜一九三二年）。オーストリアの神経学者。嗜眠性脳炎の命名者。

Encephalitis Lethargica【えんせふありていすれたるぎか】 嗜眠性脳炎。

京阪国道【けいはんこくどう】 国道一号線（東京都中央区（映画公開時は東京市日本橋区）・大阪間）のうち京都・大阪間。

円タク【えんたく】 『その夜の妻』、『お嬢さん』、『青春の夢今いづこ』、『東京の女』、『一人息子』の項参照。

東京【とうきょう】 『大学は出たけれど』、『美人哀愁』、『東京の合唱』、『東京の女』、『箱入娘』、『東京の宿』、『一人息子』、『戸田家の兄妹』、『父ありき』、『長屋紳士録』、『風の中の牝鶏』、『晩春』、『宗方姉妹』、『麦秋』、『お茶漬の味』、『東京物語』、『早春』、『東京暮色』、『彼岸花』、『お早よう』、『浮草』、『小早川家の秋』の項参照。

節子【せつこ】 大阪の姪（桑野通子）。「節ちゃん」の項参照。

MARUZEN COMPANY ㊤【まるぜん・かんぱにい まるえむ】（映像） 丸善（別項）の包装紙に印刷された文字。

HB【えいちびい】（映像） ドイツのビール醸造会社ホフブロイのビアマグ。ドクトルの自宅机上に。

M【えむ】（映像） 岡田の学生服の右襟に記章。東京帝国大学医学部の意。

「とんがらがっちゃ駄目よ」【とんがらがっちゃだめよ】（口笛・歌） 渡辺はま子／歌・佐伯孝夫／詞・三宅幹夫／曲、一九三六年。藤雄、のち藤雄と富夫が歌う。

地球儀【ちきゅうぎ】（映像） 藤雄と富夫が回して地名当てをする。『一人息子』の項参照。

エチオピア【えちおぴあ】 紅海に面するアフリカ東北部の国。アビシニア高原の大部分を占める。一九三五年、皇帝・ハシレ・セラシエ一世が来朝。一九三六年、イタリアに併合。四二年独立回復。七五年帝政廃止。現在はエチオピア連邦民主共和国。首都アジスアベバ。

ナポレオン【なぽれおん】（映像） 小宮家の部屋（『全集』では「藤雄の勉強室」のシーンだが、「勉強室」というよりは応接室である）に絵がかかっている。フランス皇帝。一七六九〜一八二二年。

鶴屋【つるや】 映画では「鶴屋のふかし羊羹」。『全集』では「鶴屋の芋羊羹」。一七〇二年創業の大阪の菓子店・鶴屋八幡だろう。節子が光子に持ってきた土産を売る老舗。

フランス【ふらんす】 『宗方姉妹』の項参照。

南アメリカ【みなみあめりか】 アメリカ大陸のパナマ運河より南部。

インド【いんど】 映画公開時はイギリスの植民地。一九四七年独立。

アフリカ【あふりか】 アフリカ大陸。映画公開時は大部分がヨーロッパ諸国の植民地だった。

シャム【しゃむ】 タイ王国の旧称。

台湾【たいわん】 地球儀遊びで富夫が「台湾！」（『全集』）と指すのに対し、藤雄は「タイワン？」と応ずる。不思議な場面だが、植民地台湾で一九三六年頃から始められた皇民化運動が反映しているのではないか。

北極【ほっきょく】 地軸が北半球で地表と交わる点。北緯九十度。

ウェストミンスター【うえすとみんすたあ】（映像・『全集』）「小宮の書斎」（『全集』）の大時計。ウェストミンスター寺院のチャイムが鳴る時計。『全集』では「ウェストミンスターの掛時計」。のちにバー「セルバンテス」（別項）のカウンターにも。

オールドパー【おおるどばあ】（映像） ドクトルの自宅机にあるスコッチウイスキー。

清元【きよもと】 清元節。江戸浄瑠璃のひとつ。歌舞伎・舞踊などに用いられる。

「落人」【おちうど】 清元節の曲名。歌舞伎『仮名手本忠臣蔵』に挿入される舞踊「道行旅路の花聲」（「お軽勘平」の伴奏）。

大盛館【たいせいかん】（映像・『全集』） 岡田の下宿の看板。

日の丸の旗【ひのまるのはた】（映像・『全集』） 『二人息子』の項参照。

西銀座【にしぎんざ】（台詞・『全集』） 『戸田家の兄妹』、『宗方姉妹』、『麦秋』、『お茶漬の味』、『東京暮色』、『彼岸花』、『お早よう』、『秋刀魚の味』の項参照。

セルバンテス【せるばんてす】（台詞・『全集』） 『全集』は「セルヴンテス」。バーの名前。Miguel de Cervantes Saavedra（スペインの小説家（一五四七～一六一六）。「ドン・キホーテ」（前編一六〇五年、後編一六一五年）の作者）に由来。

I drink upon occasion, sometimes upon no occasion. Don Quichotte 【あいどりんくあばんおけいじょん、さむたいむずあばんのおけいじょん。どんきしょつと】（映像・『全集』） セルバンテス（前項参照）の『ドン・キホーテ』中の言葉。I drink when I have occasion, and sometimes when I have no occasion. とも。『ドン・キホーテ』後編第三十三章で、ドン・キホーテの従士サンチョパンサが公爵夫人に語る言葉。「飲みたいときに飲むってわけですが、飲みたくなえときでも、（略）やつぱり飲みまसाあ」（ここでの引用は牛島信明訳『ドン・キホーテ後篇（二）』（二〇〇一・三、岩波文庫））。

CLAYMORE SCOTCH WHISKEY 【くれいもあすこつちういすきい】（映像） 前項文字の書かれた柱の上に文字が印字されたピッチャーが置いてある。



Haig【くぐぐ】(映像) 同上。

DOG'S HEAD GUINNES【ぐぐぐぐぐぐぐぐぐぐ】(映像) 同上。犬の頭もギネスのシンボルだった。

\* ANS (BLACK & WHITE)【あんずぶらつくあんどほわいと】(映像) 同上。「ANS」の部分は James Buchanan's か。ブキャナンはイギリスの実業家。

ジョニーウォーカー【じょにいうおおかあ】(映像) セルバンテスにある灰皿。壁には大きな絵看板。『朗らかに 歩め』、『宗方姉妹』、『麦秋』の項参照。

ディンプル【でいんぷる】(映像・『全集』・台詞) 『全集』は「Dimple」。「ディムプル」。

歌舞伎【かぶき】ここでは歌舞伎座(次項)。

歌舞伎座【かぶきざ】(映像・『全集』) 『麦秋』の項参照。

うずら【うずら】(『全集』) ここでは歌舞伎座一階の栈敷席。

「浮世柄比翼稲妻」【うきよづかひよくのいなずま(うきよがらひよくのいなずま)】(歌舞伎) 歌舞伎座(前々項)でかかっている演目。

不破伴左衛門【ふわばんざえもん】(歌舞伎台詞) 「浮世柄比翼稲妻」(前項)の主人公。

上原謙【うえはらけん】(映像) 日本の俳優。一九〇九〜九一年。

上原【うえはら】前項参照。

大船の上原【おおふなのうえはら】大船は松竹。前々項参照。

OLD PAR【おおるどぱあ】(映像) セルバンテスに看板が掛かっている。「オールドパー」の項参照。

東京の芸者はん【とうきょうのげいしやはん】（台詞）『全集』は「東京の芸妓はん」。

東京の芸妓はん【とうきょうのげいぎはん】（『全集』）前項参照。

「初雪」【はつゆき】（『全集』）小唄「初雪に」。

「雪のあした」【ゆきのあした】（『全集』）小唄「雪のあしたの朝ぼらけ」。

「留めては見たが」【とめてはみたが】（『全集』）「止めてはみたが」の項参照。

「心で留めて」【こころでとめて】（『全集』）小唄「心でとめて」。

V A T 6 9 【ぶあつとろくじゅうきゅう】（映像）お座敷にある。『落第はしたけれど』の項参照。

隈取り【くまどり】（映像）歌舞伎の舞台化粧。荒事を演ずる役者が顔に赤・青・茶などの絵の具で線を描き表情を誇張する。お座敷の床の間に隈取り絵の掛け軸が架かっている。

「止めてはみたが」【とめてはみたが】（小唄）小宮と節子が料亭で「お酌の踊り」（『全集』）を見、芸者の唄を聞いている。

六角木瓜【ろっかくもっこ】（映像）「芸者の貰入れ」（『全集』）に付いている紋。

本郷三丁目【ほんごうさんちようめ】「本郷三丁目の大盛館」。東京都文京区（映画公開時は東京市本郷区）の住所。

沢庵【たくあん】（『全集』）ここでは沢庵漬。江戸初期の臨済宗僧侶（一五七三〜一六四五年）の名に由来。

伊豆【いず】ここでは伊豆半島。伊豆のゴルフ場。

全国的【ぜんこくてき】全国にわたるさま。天気予報でよく聞かれる言葉だが、ラジオの天気予報は太平洋戦争

開戦で軍事機密扱いとなり敗戦まで放送されなかった。

頭痛膏【ずつこうこう】（映像・『全集』） 節子がこめかみに貼っている。

「二十八を一期として義侠のために斃れたる」【にじゅうはちをいちごととしてぎきょうのためにたおれたる】（清元？） 不詳。

POUR VOUS【ぷうるづう】（映像） 節子が読んでいる欧字新聞の文字。紙名か。のちに西銀座の喫茶店にもある。

ウィリアム・パウエル【ういりあむ・ぱうえる】 William Powell。アメリカ合衆国の俳優。一八九二～一九八四年。

フック【ふっく】（映像） 節子がふざけて小宮の脇腹にボクシングパンチをくらわせる印象的なショット。

軍艦マーチ【ぐんかんまあち】（台詞） ここでは話題になっている男の綽名。『東京物語』、『秋刀魚の味』の「軍艦マーチ」の項参照。

『漱石全集』【そうせきぜんしゅう】（映像） 麹町の夫人（栗島すみ子）が読んでいる。第二次『漱石全集』（岩波書店）の刊行は一九三五～三七年。映画の時点と重なる。『淑女と髻』の項参照。『淑女と髻』で行本輝雄の部屋にあるのは第一次『漱石全集』（一九一七～一九年、岩波書店）。

GULDEN'S Mustard【がるでんずますたあと】（映像） 西銀座の喫茶店にポスターが貼ってある。

ニューグランド【にゅうぐらんど】 横浜市の山下公園向かいにあるホテルニューグランドか。しかし、そこで食事をして節子が大阪へ帰るというのだから別のレストランか。

銀座明葉【ぎんざめいか】（『全集』） 銀座の明治製菓。

早慶戦【そうけいせん】（台詞） 早稲田大学と慶應義塾大学の対抗競技。特に六大学野球のそれを指す。

早稲田【わせだ】 ここでは早稲田大学。『学生ロマンス 若き日』の項参照。

沼津【ぬまつ】 静岡県沼津市。

## 『戸田家の兄妹』（一九四一年）

百五分 白黒・トーキー

三月一日公開（『全集』に公開館の記載なし）

脚本、ネガ、プリント現存

脚本 池田忠雄・小津安二郎

撮影 厚田雄治

美術 浜田辰雄

音楽 伊藤亘二

録音 妹尾芳三郎

現像 宮城島文一

編輯 浜村義康

監督補助 根岸浜男・西川信夫・鈴木潔・山本浩三・田村幸二

製作担当 磯野利七郎

撮影補助 鈴木一男・松川仁士・阿久津幸一郎

録音補助 牧軔之祐・伊藤数夫・松原早春・内田一弥

配光 内藤一二

装置 矢萩太郎・大谷弥吉

装飾 三島信太郎・清水敏明

衣装 斎藤耐三

結髪 増淵いよの

タイトル 藤岡秀三郎

記録 関口庄之助

事務 生田進啓

音響効果 斎藤六三郎

演奏 松竹大船楽團

衣装調製 ③ 三越

配役

父、戸田進太郎 藤野秀夫

母、葛城文子

長女、千鶴 吉川満子

長男、進一郎 斎藤達雄

妻、和子 三宅邦子

二男、昌二郎 佐分利信

二女、綾子 坪内美子

夫、雨宮 近衛敏明

三女、節子 高峰三枝子

時子 桑野通子

鈴木 河村黎吉

女中、きよ 飯田蝶子

良吉 葉山正雄

光子 高木眞由子

鰻屋の女将 岡村文子

友人 笠智衆

骨董屋 坂本武・西村青兒

写真屋 谷麗光

谷本夫人 森川まさみ

その友 若水絹子・忍節子

女中・きぬ 河野敏子

女中・たけ 文谷千代子

女中・かね 岡本エイ子

女中・しげ 出雲八重子

畠山 武田春郎

友人 山口勇

松竹映画【しょうちくえいが】（映像） オープニングクレジット。『淑女は何を忘れたか』の項参照。

松竹株式会社【しょうちくかぶしがいしゃ】（映像） オープニングクレジット。『淑女は何を忘れたか』の項参照。  
照。

麹町【こうじまち】（『全集』・台詞） 『淑女は何を忘れたか』の項参照。

女学校【じょがっこう】 旧制女学校。高等女学校。一九四七年度からの学制改革以前まで女子の中等教育機関。

節ちゃん【せつちゃん】 『淑女は何を忘れたか』の項参照。

昌ちゃん【しょうちゃん】 戸田家の二男・昌二郎（佐分利信）の名前には小津家の二男・安二郎の名が反映して

いる。

ライカ【らいか】「昌ちゃんのライカ」。Leica。ドイツのエルンスト・ライツ社（現ライカ・カメラ社）製の高級カメラ。

昌兄さま【しょうにいさま】「昌ちゃん」の項参照。節子（高峰三枝子）は昌二郎をこう呼ぶ。

九段【くだん】東京都千代田区（映画公開時は東京市麹町区）にかつて存在した地名。『長屋紳士録』の項参照。

昌二郎【しょうじろう】（台詞・『全集』）「昌ちゃん」、「昌兄さま」の項参照。

三つ持ち合い亀甲【みつもちあいきつこう】（映像）家紋。三つ持ち合い一重亀甲とも。戸田家階段下廊下の鴨居の上に飾られている。のちに電話横の廊下鴨居にも。またのちに戸田進太郎の祭壇横の花桶に付されている。

日比谷公園【ひびやこうえん】東京都千代田区（映画公開時は東京市麹町区）の公園。旧陸軍練兵場跡地に造成された日本最初の西洋式公園。一九〇三年開園。

音楽堂【おんがくどう】日比谷公園（前項）内にある日比谷野外音楽堂。

海軍さん【かいぐんさん】ここでは大日本帝国海軍。

堀切【ほりきり】東京都（映画公開時は東京市）葛飾区の地名。江戸時代に始まる菖蒲の名所。

震災【しんさい】ここでは関東大震災。一九二三年九月一日午前十一時五十八分、関東地方を襲った大地震。死者・行方不明者約十四万。

支那料理【しなりょうり】（『全集』）中国料理。



節子【せつこ】『淑女は何を忘れたか』の項、「節ちゃん」の項参照。

中学【ちゅうがく】旧制中学。『一人息子』の「中学校」の項参照。

喜の字の祝い【きのじのいわい】喜寿（数え七十七歳）の祝い。母の「これでお父さまの喜の字のお祝いにはまた孫もふえますわ」（『全集』は「孫もまた」）。映画冒頭の戸田家の女たちの会話で戸田進太郎の年齢は数え六十九歳と分かる。すると、この「喜の字」は「古稀」の誤り、つまり母の間違いというより脚本の誤りとも取れる。しかし、ここは孫の良吉が旧制中学の二年になるという会話の後であるから、八年後の喜の字の祝いの時には成人した良吉に子が出来ているだろうという意味に取るべきだろう。未婚の節子も嫁に行っているだろうから。とはいえ、分かりにくい表現である。「喜の寿のお祝い」の項参照。

きよ【きよ】戸田家の老女中の名。夏目漱石「坊つちやん」（一九〇六年）の下女・清の名を想起させ、小津の文学趣味が窺われる。

時計の振子【とけいのふりこ】（映像・『全集』） 医院の大時計。のちに雨宮家の置き時計。人の生死を分かち振り子という小津映画によく出てくる表現。というよりもセルゲイ・エイゼンシュテイン『戦艦ポチョムキン』（一九二五年）で既になじみの運命の時を刻むというパタン。

田園調布【でんえんちようふ】（『全集』・台詞）『淑女は何を忘れたか』の項参照。

『婦人\*』【ふじん\*】（映像）戸田和子が読んでいる。戸田進一郎は英字新聞（タイトル不明）を読んでいる。

オールドパー【おおるどばあ】（映像）戸田進一郎の家のガラス棚の上にある。『淑女は何を忘れたか』の項参照。

赤坂【あかさか】（『全集』 東京府東京市赤坂区（現在は東京都港区）。

浅黄の観世水【あさぎのかんぜみず】 渦を巻く水の模様の淡黄色の帯。能楽家元・観世太夫の紋所に由来。

喪服【もふく】 喪服のモチーフは『東京物語』の前奏である。

千駄ヶ谷【全集】 『淑女は何を忘れたか』の項参照。

「五十にして天命を知り、六十にして耳順い……七十にして矩を躐えず……」【ごじゅうにしててんめいをしり、ろくじゅうにしてみみしたが……ななじゅうにしてのりをこえず……】 『論語』の言葉。雨宮がいう。「しち

じゅう」ではなく「ななじゅう」と発音。

増上寺【ぞうじようじ】（『全集』） 東京都港区（映画公開時は東京市芝区）にある寺院。

丸に左三階松【まるにひだりさんがいまつ】（映像） 戸田家階段下廊下の甲冑の台に付いている家紋。

唐草模様【からくさもよう】（映像） 唐草文様。つる草が四方または波状に伸びる曲線模様。戸田家に大きな風

呂敷がある。

大阪【おおさか】 『淑女は何を忘れたか』、『宗方姉妹』、『お茶漬の味』、『東京物語』、『早春』、『彼岸花』、『浮草』、

『小早川家の秋』の項参照。

狭心症【きょうしんしょう】 冠状動脈の動脈硬化あるいは痙攣により、左前胸部あるいは胸骨のうしろあたりに起こる疼痛発作。戸田進太郎の死因。小津の父・寅之助（一八六六―一九三四年）の死因である。

和歌山【わかやま】 和歌山県。昌二郎が鯛釣りに行こうとした海。和歌山県は小津が十代を過ごした三重県の隣県である。

頭痛膏【ずつこう】（映像）千鶴がこめかみに貼っている。『淑女は何を忘れたか』の項参照。

南無釈迦牟尼佛【なむしゃかむにぶつ】（映像）戸田家、のちに鵜沼の別荘にある掛軸の文字。お釈迦さまに帰依しますの意。

東亜拓殖【とうあたくしよく】戸田進太郎が「一番緊密にしておった」「全集」は「緊密だった」会社。東亜は東アジア。拓殖は殖民（植民）開拓。類似の名称の東洋拓殖（一九〇八～四五年）は朝鮮植民推進のため設立された。ほかに台湾拓殖、南洋拓殖など。また、一九九七年に経営破綻した都市銀行・北海道拓殖銀行は、一九〇〇年、北海道開拓の特殊銀行として設立された。

鵜沼【くげぬま】神奈川県藤沢市（映画公開時は高座郡藤沢町）の地区名。戸田家の別荘がある。

チナンピン【ちなんぴん】（台詞）沈南蘋（次々項参照）。

秋景花鳥【しゅうけいかちょう】沈南蘋（次項）の作品。

沈南蘋【しんなんぴん】清の画家（一六八二～没年不詳）。花鳥画にすぐれる。一七三二年来朝。南蘋派を形成し日本画壇に大きな影響を残す。

円山応挙【まるやまおうきよ】江戸中期の画家（二七三三～九五年）。円山派の祖。

李白観瀑【りはくかんぱく】ここでは円山応挙（前項）の作品。李白（次項）が廬山の滝を観る図は多くの画家が描いた。

李白【りはく】唐の詩人（七〇一～六二年）。詩仙と称される。

李太白【りたいはく】李白（前項）に同じ。

酒井抱一【さかいほういつ】江戸後期の画家（一七六一〜一八二八年）。姫路藩主酒井忠以ただきねの弟。

富士【ふじ】ここでは酒井抱一作品。扇面。

尾形光琳【おがたこうりん】江戸中期の画家・工芸家（一六五八〜一七一六年）。蒔絵にすぐれる。

雪松【せつしょう】ここでは尾形光琳作品。扇面。

色鍋島水仙絵皿【いろなべしすいせんえざら】戸田進太郎遺産・書画骨董目録のひとつ。色鍋島は赤・緑・黄

の彩色鮮やかな鍋島焼。色絵鍋島。水仙を描いた絵皿。

柿右衛門【かきえもん】（『全集』）肥前国有田の陶工。姓は酒井田。江戸前期に赤絵の技法を確立し、代々柿右

衛門を名乗り現代に至る。

八角見込花鳥鉢【はっかくみこみかちょうばち】（『全集』）ここでは柿右衛門の八角形で見込（内面）に花鳥が

描かれた鉢。

【道成寺】【どうじょうじ】（『全集』）ここでは日本舞踊「京鹿子娘道成寺」。

人生七古来稀【じんせいしちじゅうこらいまれ】杜甫「曲江詩」の一部。古稀は数え七十歳。

神宮【じんぐう】ここでは神宮球場。東京都新宿区霞ヶ丘町かすみがおおかまち（映画公開時は東京市四谷区霞丘町）の明治神宮

外苑にある。一九二六年竣工。

弓【ゆみ】ここでは弓道。父親・戸田進太郎が弓をやっていたのは永井荷風「狐」（一九〇九年）を連想させる

ミューズ【みゆうず】戸田進太郎の「ミューズのダイジェスト」を持ち出して、昌二郎が古本屋に売ったという

友人たちとの会話。フランスの雑誌『ミューズ・フランセーズ』（一八二三〜二四年）か。

銚子【ちようし】 千葉県銚子市。

東郷さん【とうこうさん】 ここでは東郷平八郎。海軍大将（一八四七～一九三四年）。旧薩摩藩士。日露戦争日本海海戦で連合艦隊司令長官でロシアのバルチック艦隊を破った。

ベニソンの時計【ベにそんのとけい】 ベンソン（James William Benson）はイギリスの時計メーカー。小津の遺品のベンソン懐中時計は鎌倉文学館に所蔵。

勸進帳【かんじんちよう】（『全集』） ここでは歌舞伎十八番のひとつ。

弁慶【べんけい】（『全集』） 『麦秋』の項参照。

義経【よしつね】（『全集』） 源義経。一一五九～八九年。

天津【てんしん】 中華人民共和国河北省の都市。かつて日本租界をはじめ欧米列強の租界があり、中国侵出の拠点であった。『お茶漬の味』の「天津どんぶり」の項参照。

支那【しな】（『全集』） 中国。

北京【ぺきん】（『全集』） 一九一二年成立の中華民国は清朝をひきつぎ北京を主都とするが、一九二八年南京遷都。北京は北平<sup>ペイピン</sup>と改称されるが、一九三七年の日本占領で北京に戻る。一九四五年の日本敗戦で再び北平となるが、一九四九年の中華人民共和国成立で首都となり北京と称する。

柳橋【やなぎばし】（『全集』） 東京都台東区（映画公開時は東京府東京市浅草区）の地名。

養川院【ようせんいん】 「養川院の箱書」。狩野養川院。狩野惟信。江戸中期から後期の画家（一七五三～一八〇八年）。

喜の寿のお祝い【きのじゅのおいわい】「喜の字の祝い」の項参照。

米寿のお祝い【べいじゅのおいわい】数え八十八歳の祝い。

京都【きょうと】ここでは京都市あるいは京都駅。

神戸【こうべ】兵庫県神戸市。『父ありき』の項参照。

東京【とうきょう】『東京の合唱』、『東京の女』、『出来ごころ』、『東京の宿』、『一人息子』、『淑女は何を忘れたか』、『麦秋』、『お茶漬の味』、『東京物語』、『東京暮色』、『彼岸花』、『お早よう』、『浮草』、『小早川家の秋』の項参照。

銀座【ぎんざ】（台詞・『全集』）『淑女は何を忘れたか』の項参照。

サンドイッチ【さんどいっち】（台詞・『全集』）sandwich。イギリスのサンドイッチ伯爵（一七一八〜九二年）がトランプ好きで食事の時間も惜しんで作らせたことに由来。

唐饅頭【とうまんじゅう】（台詞）小麦粉に砂糖・鶏卵をまぜた皮にあんを包み焼いた菓子。『全集』では「水羊羹」。

上野の動物園【うえののどうぶつえん】上野動物園。『淑女は何を忘れたか』の「動物園」の項、『長屋紳士録』の「上野動物園」の項参照。

GERMANY【じゃあまにん】（映像）「GERMANY 1936」。ベルリンオリンピックのポスターが良吉の部屋に貼ってある。『一人息子』の項参照（別のポスターだが）。

職業婦人【しよくぎょうふじん】（『全集』）職業を有する女性。大正期ごろからの新語。

芦屋【あしや】（『全集』）兵庫県芦屋市。高級住宅地として知られる。

住吉【すみよし】（『全集』） 大阪市の南西部にあたる住宅地。映画公開当時の大阪市住吉区と一部住之江区にわたる。

摩耶山【まやさん】 神戸市にあり、六甲山地前の孤峰。七〇二メートル。

六甲【ろっこう】 六甲山地。兵庫県神戸市・芦屋市の背後にある山地。最高峰は東六甲山（九三二メートル）。

関西料理【かんさいりょうり】 上方料理。京都・大阪の料理。

紗綾形【さががた】 卍の形をくずして連ねた模様。

丸に梅花【まるにうめばな】（映像） 雨宮家の箱火鉢に彫られている家紋。のちに鶴沼別荘の鴨居の上にも飾られている。

西銀座【にしぎんざ】（『全集』） 『淑女は何を忘れたか』、『宗方姉妹』、『麦秋』、『お茶漬の味』、『東京暮色』、『彼岸花』、『お早よう』、『秋刀魚の味』の項参照。

岸花【お早よう】、『秋刀魚の味』の項参照。

日本料理屋【にほんりょうりや】（『全集』） 日本料理を提供する飲食店。ここでは料亭。

懷中じるこ【かいちゅうじるこ】 乾燥させた餡や片栗粉を最中に仕込んだもの。熱湯を注ぐと汁粉になる。

妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五【みょうほうれんげきょうかんぜおんぼさつふもんぼんだいにじゅうご】（『全集』） 法華經のひとつ。観音經。

キリンビール【きりんびいる】（映像） 一周忌法事の宴席置に瓶が並んでいる

丸に剣片喰【まるにけんかたばみ】（映像） 鶴沼の別荘の簞笥の上にある風呂敷包みに付いている家紋。のちに同じく別荘の縁側にある旗のようなものにも大きく染め込まれている。

富士山【ふじさん】『箱入娘』、『大学よいとこ』、『生れてはみたけれど』、『一人息子』、『父ありき』の項参照。  
 善光寺【ぜんこうじ】『一人息子』の項参照。

ヒットラー【ひつとらあ】（『全集』）ヒトラー。Adolf Hitler。一八八九—一九四五年。ドイツの政治家。映画公開時は第三帝国総統・首相。「お嫁さんお貰いにならない？」（『全集』は「お嫁さん貰わない？」）という節子に昌二郎が「ヒットラーが貰ったら俺も貰うよ」と応える。この台詞は映画にない。のちのカットではなく使  
 用されなかったのだろう。

弁慶【べんけい】『麦秋』の項参照。

ジークフリート【じいくふりいと】ドイツ中世の叙事詩『ニーベルンゲン』に登場する王子。背中に落ちた菩提樹の葉が致命的な弱点で、そこを刺されて死ぬ。

新橋【しんばし】（台詞）ここでは新橋駅。『晩春』、『麦秋』の項参照。

土橋式松竹フォン【つちはししきしょうちくふおおん】（映像）エンディングタイトル。『淑女は何を忘れたか』の項参照。

## 『父ありき』（一九四二年）

九十四分 白黒・トーキー

四月一日公開



脚本、ネガ、プリント現存

脚本 池田忠雄・柳井隆雄・小津安二郎

撮影 厚田雄治

美術監督 濱田辰雄

録音 妹尾芳三郎

現像 宮城島文一

編輯 濱村義康

製作担当 磯野利七郎

演出補助 西川信夫・鈴木潔・山本浩三・塚本芳夫

撮影事務 田尻丈夫

撮影補助 齋藤毅・鈴木一男・井上晴二・竹馬義一

録音補助 高懸義人・金子盈・吉田彰孝

配光 内藤一二

装置 大谷弥吉

装飾 橋本庄太郎・清水敏明

衣装 齋藤耐三

結髪 高川清子

音響効果 齋藤六三郎

字幕 藤岡秀三郎

記録 猪股力

音楽 彩木颯一

演奏 松竹交響樂團

合唱 紫交會合唱團

土橋式松竹フオーン

## 配役

堀川周平 笠智衆

堀川良平 佐野周二

その少年時代 津田晴彦

黒川保太郎 佐分利信

平田眞琴 坂本武

平田ふみ 水戸光子

平田清一 大塚正義

内田実 日守新一

和尚さん 西村青児

漢文の先生 谷麗光

中学の先生 河原侃二・倉田勇助

会社員 宮島健一

堀川の女中 文谷千代子

医師 奈良眞養

卒業生 大山健二・三井秀男・如月輝夫・久保田勝己

写真師 毛塚守彦

北陸の中学生 大杉恒雄・葉山正雄・永井達郎・藤松正太郎

東北の工業生 小藤田正一・緒方喬・横山準・沖田儀一

**松竹映畫**【しょうちくえいが】（映像） オープニングクレジット。『淑女は何を忘れたか』、『戸田家の兄妹』の項参照。

**松竹株式會社**【しょうちくかぶしがいしゃ】（映像） オープニングクレジット。『淑女は何を忘れたか』、『戸田家の兄妹』の項参照。

**金沢**【かなざわ】（『全集』・台詞） 石川県金沢市。

**「茶摘」**【ちゃつみ】（ハミング） 文部省唱歌。作詞・作曲不詳。

小学校【しょうがっこう】（『全集』 尋常小学校。

中学【ちゅうがく】（『全集』・台詞）『一人息子』、『戸田家の兄妹』の項参照。

円錐形の体積【えんすいけいのたいせき】森鷗外「雁」（一九一〇―一五年）の末尾近くで岡田の外套が下ぶくれになっているところから円錐の立方積（体積）の話題が出るのが使われているか。

中学校【ちゅうがっこう】（『全集』 『一人息子』の項参照。

東京【とうきょう】（台詞・『全集』 『東京の合唱』、『東京の女』、『出来ごころ』、『東京の宿』、『一人息子』、『戸

田家の兄妹』、『麦秋』、『お茶漬の味』、『東京物語』、『東京暮色』、『彼岸花』、『お早よう』、『浮草』、『小早川家の秋』の項参照。

宮城【きゅうじょう】天皇の住むところ。御所。内裏。現在は皇居と称するが戦前は宮城といった。

明治神宮【めいじじんぐう】東京都（映画公開時は東京市）渋谷区にある神社。祭神は明治天皇と昭憲皇太后。

靖国神社【やすくにじんじゃ】東京都千代田区（映画公開時は東京市麹町区）にある神社。戊辰戦争以後国難に

殉じた人々の霊を祭る。『長屋紳士録』の「九段」の項参照。

鎌倉【かまくら】神奈川県鎌倉市。

江ノ島【えのしま】『全集』は「江之島」。神奈川県藤沢市の片瀬川河口にある陸繋島。

箱根【はこね】（台詞・映像・『全集』）神奈川県足柄下郡箱根町。

鎌倉大仏【かまくらだいぶつ】（映像・『全集』）『麦秋』の項参照。

五輪塔【ごりんとう】（映像）方形・円形・三角形・半月形・宝珠形の石を積みあげ地・水・火・風・空を表した供

養塔。箱根のシークウェンスを五輪塔のショットから導入するのは、そこで起る死のドラマを暗示する。さらにいうなら、これから何度か挿入される五輪塔のショットは死のドラマたる『父ありき』の通奏底音である。

【箱根八里】【はこねはちり】（歌のちにハモニカ）修学旅行の中学生たちが歌いながら歩いてゆく。中学唱歌、

一九〇一年。鳥居悦・詞／滝廉太郎・曲。「箱根の山は天下の嶮／函谷関もものならず／万丈の山千尋の谷／前に聳え後方にささふ／雲は山を巡り霧は谷を閉ざす／昼猶闇き杉の並木／羊腸の小径は苔滑らか／一夫関に当たるや万夫も開くなし／天下に旅する剛氣の武士／大刀腰に足駄がけ／八里の碧根踏みならず／かくこそありしか往時の武士」。このように一番を長々と全部聞かせてしまうのが小津このみなのである。

函谷関【かんこくかん】（歌）「箱根八里」〔前項〕の歌詞の一部。中国河南省西北部にある交通の要衝。

富士山【ふじさん】（映像）静岡県と山梨県の県境にそびえる円錐状成層火山。標高三七七六メートル。静止画とはいえ、オープニングクレジットならぬ映画本編に富士山が映しこまれるのは小津映画でこの作品のみ。『箱入娘』、『大学よいとこ』、『生れてはみたけれど』、『一人息子』、『戸田家の兄妹』の項参照。

芦ノ湖【あしのこ】（映像）神奈川県箱根山上の湖。『彼岸花』の項参照。

赤壁の戦【せきへきのたたかい】（『全集』）中国・後漢末期の二〇八年、曹操と孫権・劉備連合軍が長江の赤壁において行った戦い。

瑜【ゆ】（『全集』）周瑜。中国・呉の武将。二〇八年、赤壁で曹操を破った。一七五〜二一〇年。

黄蓋【こうがい】（『全集』）中国・呉の武将。生没年不詳。

操【そう】（『全集』）曹操。中国・魏の始祖。一五五〜二一〇年。

蓋【がい】（『全集』） 黄蓋。前々項参照。

箱根細工【はこねざいく】 箱根温泉土産。寄せ木細工。

上田【うえだ】（台詞・『全集』・映像） 長野県上田市。

蚕糸専門学校【さんしせんもんがっこう】 ここでは旧制上田蚕糸専門学校。一九一〇年設立。一九四九年、新制信州大学繊維学部之母体となった。

丸に梅花【まるにうめばな】（映像） 旗あるいは大きな風呂敷に染められた家紋。上田の町角にある。

㊦【まるみ】（映像） めし屋の看板。「\*\*／\*しめ／親子丼」とある。

親子丼【おやこどん】（映像・『全集』） ㊦（前項）の看板文字。「堀川と良平、親子丼を食べている」（『全集』）。鶏肉と鶏卵を親子と見立てている。玉ひで（東京都中央区日本橋人形町）で明治の中ごろに考案された。『東京物語』で平山紀子が義父母にふるまうどんぶりは映像では判別出来ないが、『父ありき』のこの場面につながることは可能だ。

お城【おしろ】 ここでは長野県上田市にかつてあった上田城。一八七四年解体。

城址【じょうし】（『全集』）『全集』では城址に「腰を下ろし」上田の町を「眺めている」ので、上田城の設定だが映像は小諸城（次項）である。

小諸城【こもろじょう】（映像） 長野県小諸市（北佐久郡小諸町）にある城跡。

日本海岸【にほんかいがん】 日本海に面した海岸。

九曜紋【くようもん】（映像） 寺の鴨居にある。

按分比例【あんぶんひれい】 比例配分。

溜屋【たまりや】 「溜屋の息子」。屋号。不詳。

石持ち地抜き蠟燭【こくもちじぬきろうそく】（映像） 父子が食事する「宿屋」（『全集』）の二階からおそらく中庭<sup>庭</sup>ごしに見える向かい側に大きな家紋がある。

於バナヤ【おばなや】（映像） 父子が食事する「宿屋」（『全集』）の二階から見える向かいの店の屋号。

延命丸【えんめいがん】（映像） 「於バナヤ」（前項）の壁に掲げられた額看板。薬の名か。不詳。

高等学校【こうとうがっこう】 旧制高等学校。

大学【だいがく】 旧制大学。

仙台【せんだい】 宮城県仙台市。

丸の内【まるのうち】（映像） ビルの窓外景。『晩春』の項参照。

日章旗【にっしょうき】（『全集』） 『一人息子』の項参照。

世界地図【せかいちず】（映像） 基会所の壁に貼つてある。

キリンビール【きりんびいる】（映像） 坂本武の家のちゃぶ台に一本、のちに父子再会の塩原の宿に三本ある。

市役所【しやくしよ】 ここでは東京市役所。『一人息子』の項参照。

東京市【とうきょうし】 東京府東京市。一八八九年五月一日市制施行。一九四三年七月一日都政施行により東京

都となった。

仙台的帝大【せんだいのていだい】 東北帝国大学。

秋田の工業学校【あきたのこうぎょうがっこう】（台詞・『全集』） 秋田県秋田市にあった秋田鉱山専門学校か。

一九一〇年設立の旧制専門学校。一九三七年に臨時工業技術員養成科を設置している。現・秋田大学工業資源学部（旧鉱山学部）の前身。

朝日【あさひ】（映像） 堀川が吸う紙巻き煙草。フィルターを潰しているので確認出来る。のちに周平の家の畳に箱がふたつ。ひとつは潰れている。映像で朝日と確認は出来ないが

戦争【せんそう】 日中戦争さらにこの映画の時点では太平洋戦争が始まっている。良平が小林という生徒に「兄さんは戦争へ行っておられるんだったなあ？」「お達者か？」と尋ねると生徒は「うん、駄目だっす」と応える。この何気ない会話から悲哀が伝わる。『全集』では「はあ」と応えているから演出で意味が変化している。

黒磯駅【くろいそえき】（『全集』） 栃木県那須塩原市（映画公開時は那須郡黒磯町）にあるJR東日本（映画公開時は鉄道省）東北本線の駅。

塩原【しおばら】（『全集』・台詞） ここでは栃木県那須塩原市（塩谷郡塩原町）にある温泉。

＊＊本陣御旅籠緑屋【＊＊ほんじんおんはたごみどりや】（映像） 堀川父子が泊まる宿の看板。水助【みずすけ】（映像） 不詳。風呂外の貼り紙。のちに逆さに貼られている。

宇都宮の中学【うつのみやのちゅうがく】 旧制栃木県立宇都宮中学校。現・宇都宮高等学校。

南山壽【なんざんじゅ】（映像） 堀川父子が泊まる宿の襖の文字。南山之寿。名峰・終南山が永久に変わらないのと同じように人の長寿を祈る言葉。やがて父が急逝するのだから、宿の襖にこの言葉を配した小津の演出は心憎いまで深い。それは小津自身が父・寅之助の急逝を悼む心情に直結している。



能信\*【よしのぶ\*】（映像）堀川父子が泊まる宿の襖の文字。父子が食事をしている「南山壽」（前項）の襖がある部屋と中庭をはさんで向こう側の部屋に見える。藤原能信（九九五〜一〇六五年）か。能信は平安時代中期の公卿。藤原道長の四男で『大鏡』の作者に擬せられることもある。

福德壽【ふくとくじゅ】（映像）「南山壽」（前々項）同様堀川父子が泊まる宿の襖の文字。「南山壽」の裏面。幸福・利益・長命と縁起の良い語を連ねる。

秋田県【あきたけん】東北地方の県。羽後国の大部分と陸中国の一部から成る。

「一苦一楽相磨鍊極而成福者其福始久」【いっくいちらくあいまれんしれんきわまってふくをなすものそのふくはじめてひさし】父が息子を諭す言葉。中国明代、洪自誠の雑学書『菜根譚』にある。堀川は「一苦一楽相磨鍊し鍊極まって福を成す者はその福初めて久し」（『全集』）と「磨鍊」を「鍊磨」といつている。

元量【げんりょう】（映像）「能信\*」（別項）同様堀川父子が食事をした「南山壽」（別項）の襖がある部屋と中庭をはさんで向こう側の部屋に翌日見える。南宋末期の詩人・汪元量<sup>おう</sup>か。

岩波文庫【いわなみぶんこ】（映像）塩原の宿で帰り支度をしている良平がポケットから出す。良平はのちに父の家でも岩波文庫を読む。書名は分からないが、良平を岩波文庫に親しむ人間として提示している。

兵隊検査【へいたいけんさ】（『全集』）徴兵検査。良平は二十五歳になっている。「こんどはお前の兵隊検査の時だな、逢えるのは……」（『全集』）という台詞はDVDにない。もう一箇所。旧制中学の教え子たちが面会に来て良平のことを尋ねられた時、堀川は「二十五になりました。兵隊検査のついでに東京へ出て来ますもんで……」と応える。これらはおそらく戦後のカット。

京橋【きょうばし】（台詞） 東京都中央区（映画公開時は東京市京橋区）の地名。『全集』は「銀座」。

銀座【ぎんざ】（『全集』） 『淑女は何を忘れたか』、『戸田家の兄妹』の項参照。

検査【けんさ】 ここでは徴兵検査。「兵隊検査」の項参照。「兵隊検査」という言葉はカットされても「検査」は通っている。父子の会話を『全集』から採録すると「堀川「そうか……で、どうだった、検査は？」／良平「甲種でした」／堀川「そうか、それはよかった」／堀川、ぴたりと坐って、／堀川「おめでとう」／良平「ええ」となる。最初の堀川と最後の良平の台詞には含まれた部分がDVDにはない。カットされているのだ。DVDではこの間に堀川はあぐらから正座になっている。『ぴたりと坐って』いるのだ。ところが、のちに教え子たちとの宴会から帰った堀川がいう台詞「お前ももう立派に甲種に合格したんだし」は生きている。こちらは『全集』にはない。

甲種【こうしゅ】（『全集』） 徴兵検査の甲種合格。ほかに乙種（合格）、丙種（現役招集はされない）、丁種（不合格）、戊種（判定不能）があった。

小学校【しょうがっこう】（『全集』） ここでは尋常小学校。

「今日よりは顧みなくて大君の醜の御櫓と出で立つ吾は」【きょうよりはかえりみなくておおきみのしこのみたてといでたつわれは】（『全集』） 『万葉集』の歌。DVDにはない。おそらく戦後のカット時のつながりの関係で「小学校」（前項）の入った堀川の台詞から切られている。DVDでは風呂を使うというやりとりになるが、これは『全集』にはないのだ。

大川端【おおかわばた】（『全集』） 大川は隅田川。隅田川のほとり。

神戸【こうべ】『戸田家の兄妹』の項参照。

武運長久【ぶうんちようきゆう】『全集』 出征兵士の無事が長く続くこと。堀川が「応召中」(『全集』)の教え子たちの「武運長久を、お祈りいたしまして、盃をあげたい」(『全集』)という。DVDにはない。

職域奉公【しょくいきほうこう】 戦時下のスローガン。

徴兵検査【ちようへいけんさ】『全集』 「兵隊検査」、「検査」の項参照。

甲種合格【こうしゅごうかく】『全集』 「甲種」の項参照。

谷よしの【たによしの】(映像) 日本の女優。一九一七〜二〇〇六年。小津映画にほんの一場面(『長屋紳士録』、『風の中の牝鷄』、『麦秋』)出演し、深い印象を残す。山田洋次は『男はつらいよ』のシリーズ(一九六九―九五)で同様の手法で谷を遇した。

犀川【さいがわ】(台詞) ここは石川県金沢市の犀川。日本海に注ぐ。浅野川を女川というのに対し男川と呼ばれる。堀川は「さいかわ」と発音している。『全集』は「浅野川」(次項)。「一人息子」の項参照。

浅野川【あさのがわ】(『全集』) 石川県金沢市の川。犀川と平行して日本海に注ぐ。犀川を男川というのに対し女川と呼ばれる。

藤田東湖【ふじたとうこ】江戸時代末期の儒学者。水戸藩士。一八〇六〜五五年。

「正気歌」【せいきか】江戸時代末期、藤田東湖が尊皇攘夷派の士気を鼓舞するために作った詩。堀川(『全集』では平田)が詩吟「正気歌」を詠う場面はDVDにない。

\*\*\*婦人会【ふじんかい】(映像) 看板の文字。

神田【かんだ】 東京都千代田区（映画公開時は東京市神田区）の地名。ここでは神保町の古書店街。

上野の博物館【うえののはくぶつかん】 帝室博物館。現在の東京国立博物館。堀川は入場料十銭といっている。

『麦秋』の「東京国立博物館」の項参照。

華山【かざん】 渡辺華山。江戸時代後期の画家・洋学者。一七九三～一八四一年。

日本【にほん】 日本国。

狭心症【きょうしんしょう】（映像） 堀川が発作を起こす。左胸あたりを押えている。『戸田家の兄妹』の項参照。

消毒液スタンド【しょうどくえきすたんど】（映像） 『東京物語』の平山医院で目に付く消毒液を入れた金盥の

スタンドが登場し、既に映画の枠として配されている。

秋田【あきた】 ここでは秋田県秋田市。『麦秋』の項参照。

骨箱【こつばこ】（映像） 白布に包まれた骨箱が汽車の網棚に乗せられている。父寅之助の骨を高野山に納める

際、小津は網棚に乗せていった。

海ゆかば【うみゆかば】（音楽） 本項目は凡例にないテキストである東京国立近代美術館フィルムセンター所

蔵ロシア・ゴスフィルモフォンド版『父ありき』を観た記憶による。ラストの汽車のシーンに軍歌「海ゆかば」

（大伴家持・詞／信時潔・曲、一九三七年）がかぶさる。

（本稿は平成二十四年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（C）課題番号20520149）による研究成果の一部である）